

【タイトル】12月研修会

【部会名】女性部会

【日時】平成20年12月 9日(火) PM4:00～:5:30

【場所】アンフェリシオン

【演題】「東京と大阪～税務行政 東と西～」

【講師】舩富 康次 副署長 (江東東税務署)

【内容】

講演では、東京の人と大阪の人の食文化や生活習慣の比較に触れ、例えば、「肉」といえば東京は豚、牛、鶏、大阪は牛であり、エスカレーターは東京は右側を空け、大阪は左側を空ける。

また、東京と大阪の税務行政にも触れ、東京国税局と大阪国税局の税務署数や職員数、ポストの呼び方の相違点、税込に占める両局の比較などについても話された。

そして、現在、東京国税局をはじめ全ての国税局でも利用促進している e-Tax

についても言及し、「一例として全国で個人の確定申告件数の最も多い横浜南署の15万2千人を、逐一税務署で受け付けていると、管理するだけで大変な事務量になる。それを e-Tax を利用していただければ、遠方から来署する必要も



なくなり、納税者の利便性と併せて行政の効率化につながるものである。」と趣旨を説明し、参加者に理解を求めた。

最後に舩富副署長は、日本人には「周囲が皆やっていたら、それに従う」という気質があるので、e-Tax についても是非皆さんが率先して利用し、「みんなが利用しているから利用する」という雰囲気醸成をお願いしたいと要請して、講演会を結んだ。